

浦安藝大とは

浦安アートプロジェクト「浦安藝大」は、浦安市と東京藝術大学が連携し、市民とともにアートによって新たな価値の創出やまちの魅力の向上、地域や社会の課題解決のきっかけづくりをしていくプロジェクトです。

浦安藝大は一人ひとりの中にある「？」を大切に、わからないこと、わかり合えないことをありのままに共有できる。そしてそれらを抱えながら未来を創る場でありたいと考えています。

本プロジェクト展では、令和6年度に実施した浦安市の課題に対するアプローチの成果を市内各所で発表し、市民の皆さまと課題について考える場とします。

社会課題について

「浦安藝大」は、次の「浦安市の社会課題」の解決に向けたアプローチに取り組んでいます。

各社会課題の詳細や「プロジェクト展」までの取り組みは公式ウェブサイトやInstagramで紹介しています。

浦安藝大が取り組む
浦安市の社会課題



児童虐待の防止



社会的孤立の防止



第一期埋立護岸の利活用



ゴミの減量化



がん検診の受診率向上



いじめの防止



5.5m 道路の利活用

課題へのアプローチ

浦安藝大では「地域や社会の課題解決のきっかけづくり」を、アートを通して課題を問い直しながら市民と共に考えることと捉えています。「変化」は、人間のささいな気持ちの変化が少しずつ積み重なることで生まれます。アートを通して非日常的な視点を私たちの日常や社会の課題に持ち込み、新しい角度から捉えることで、課題解決への対話が始まります。



展示スケジュール

あそびを装う
アーティスト / BIOTOPE

ワークショップ 2024年 11月23日(祝・土) 14:00~16:00
|会場| 今川団地自治会集会所前

展示 2024年 11月24日(日) — 12月1日(日)
|会場| 今川団地 |観覧時間| 10:00~17:00

循環する社会へ
アーティスト / 北原一輝+河野詩織+林央子

レクチャー 2024年 12月1日(日) 14:00~16:00
|会場| 市民プラザWave101 小ホール

護岸アーカイブプロジェクト
—埋立地の記憶を保存する(Seawall Archive Project)—
アーティスト / 佐藤桃子+横山渚

展示 2024年 11月23日(祝・土) — 12月1日(日)
|会場| 浦安公園、郷土博物館 |観覧時間| 10:00~17:00

VR体験 2024年 11月27日(水)
|会場| 郷土博物館

Value of Waste
アーティスト / 櫻村実美+蓮溪芳仁+櫻村研究室

展示 2024年 11月26日(火) — 12月1日(日)
|会場| 市民プラザWave101 ギャラリー |観覧時間| 10:00~17:00

浦安ずるシルバーカー
アーティスト / 西尾美也+Shota Mitsuoka+haru.

2日間のワークショップ 2024年 12月7日(土) 12月21日(土)
13:00~16:00 13:00~17:00
|会場| 市民プラザWave101 ギャラリー

Value of "GOGAN"
アーティスト / 櫻村実美+蓮溪芳仁+櫻村研究室

ワークショップ 2024年 12月8日(日) 14:00~16:00
|会場| 第一期埋立護岸 入船側、今川側

イス to ベンチ プロジェクト
アーティスト / 佐藤桃子+横山渚

オープンスペース 2024年 12月13日(金) — 15日(日)
|会場| 高洲公民館 エントランス、工芸工作室

ワークショップ 2024年 12月21日(土) 10:00~12:00 / 13:00~15:00
|会場| 文化会館 大会議室

展示 2025年 1月18日(土) — 26日(日)
|会場| 市内各所の公民館や図書館分館 |観覧時間| 10:00~17:00

パブロープ in 浦安
アーティスト / 西尾美也+L.PACK.

展示 2025年 1月18日(土) — 26日(日)
|会場| アトレ新浦安 ガーデンテラス |観覧時間| 10:00~21:00

旧海岸線散歩道
アーティスト / 櫻村実美+蓮溪芳仁+櫻村研究室

展示 2025年 1月18日(土) — 26日(日)
|会場| 第一期埋立護岸横の緑地 |観覧時間| 10:00~17:00

旧海岸線散歩道内覧会
アーティスト / 櫻村実美+蓮溪芳仁+櫻村研究室

ワークショップ 2025年 1月26日(日) 15:00~17:00
|会場| 第一期埋立護岸横の緑地

【参加費】 無料 |【レクチャー・ワークショップ】 事前申し込み(先着順)

浦安藝大の公式ウェブサイト <https://urayasu.geidai.ac.jp> へ
または浦安市ホームページからお申し込みください。
|申込期間| 各イベントの2日前17:00まで。

*小学校2年生以下は保護者の付き添いが必要です。保育はありません。
*出演者やプログラム内容等は予告なく変更になる場合があります。

会場へのアクセス

詳しくはマイマップをご覧ください。

A 市民プラザ Wave101

[千葉県浦安市入船一丁目4番1号
イオン新浦安ショッピングセンター 4階]
-JR京葉線 新浦安駅 徒歩1分

B 浦安公園

[千葉県浦安市猫実一丁目2]
-東京ベイシティ交通 バス6系統で「市役所前」下車

C 郷土博物館

[千葉県浦安市猫実一丁目2番7号]
-東京ベイシティ交通 バス6系統で「市役所前」下車
-おさんぼバス医療センター線で「健康センター・郷土博物館」下車徒歩2分
-おさんぼバス舞浜線で「健康センター」下車徒歩3分

D 今川団地

[千葉県浦安市今川4-12]
-JR京葉線「新浦安」駅徒歩17分

E アトレ新浦安

[千葉県浦安市入船1-1-1]
-JR京葉線 新浦安駅 徒歩1分

F 高洲公民館

[千葉県浦安市高洲五丁目3番2号]
-バス15系統・18系統で「高洲中央公園」下車

G 浦安市文化会館

[千葉県浦安市猫実一丁目1番2]
-バス6系統で「市役所前」下車
-おさんぼバス医療センター線で「文化会館」下車
-おさんぼバス舞浜線で「健康センター」下車

H 第一期埋立護岸



お問い合わせ 浦安藝大事務局

TEL 080-7356-1906 (10:00~17:00) *土・日・祝日を除く
MAIL urayasu_art_project@ml.geidai.ac.jp

主催 | 浦安市、東京藝術大学
共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点

浦安藝大

アートの
浦安市の
社会課題と
向き合う。

プロジェクト展

Vol.1

2024. 11. 23 (祝・土) — 12. 1 (日)

Vol.2

2025. 1. 18 (土) — 26 (日)

1人ひとりの日々にある
「？」を立ち止まって考える

プロジェクト展は、令和6年度にアートを通して浦安市の課題にアプローチした成果を、市内各所で発表し、市民の皆さまと課題について考える場です。

拡張するファッション演習

ファッション＝装うこと＝を捉え直す授業形式アートプロジェクト。ワークショップ、レクチャー、展示とさまざまな形態で多彩なゲストを迎え、わたしたちの日常のなかにある「装うこと」についてさまざまな角度から考えます。ファッションを通じた対話と協働の実践演習。あなたもぜひ参加してみませんか？

取り組む課題 **社会的孤立の防止**

<p>ディレクター 西尾 美也 にしおよしやう</p>  <p>東京藝術大学准教授。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目したプロジェクトを国内外で展開。ファッションブランド「NISHINARI YOSHIO」を手がける。近年は「学び合いとしてのアート」をテーマに、様々なアートプロジェクトやキュレトリアルワークを通して、アートが社会に果たす役割について実践的に探究している。</p>	<p>キュレーター 林 央子 はやしちかこ</p>  <p>ロンドン・カレッジ・オブ・ファッションの博士課程に在籍し、ファッションとアートの中間領域において、雑誌が共同制作やコラボレーションに果たす役割を研究している。著書に「拡張するファッション」(2011)「わたしと「花椿」」(2023)ほか。</p>	<p>リサーチャー 安藤 詩歩子 あんどうしほこ</p>  <p>精神医学とファッションをテーマに、衣服と身体の関係性を研究するとともに、ファッションに関する著作の翻訳や論文等の文章を執筆し国内外の学会で発表を行う。現在は「衣服への社会的な欲望」と「ケアとしての衣服」の観点から、オルタナティブなファッション研究の可能性を模索している。</p>
---	---	---

あそびを装う

暮らしの中に現れるカラフルなモチーフ。アートディレクション、グラフィックデザイン、ファッションデザインを領域横断的に活動する2人組ユニットのBIOTOPEがおこなうプログラム。ワークショップでは、連結できるカラフルなビーチボールをつかい、新しい生き物のようなオブジェを作ります。それらは今川団地の敷地内各所に出現し、12月1日まで展示されます。


ワークショップ 2024年 11月23日(祝・土) 14:00~16:00

受付場所 | 今川団地自治会集会所前 (〒279-0022 千葉県浦安市今川4丁目12-43) | 受付開始 | 13:45~ | 定員 | 20名ほど (要事前申込) | ※屋外での作業となりますので暖かい服装でお越しください。 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。 協力: 今川団地自治会

展示 2024年 11月24日(日) — 12月1日(日)

会場 | 今川団地 中央ブレイロッド付近 (今川団地内に案内があります) | 観覧時間 | 10:00~17:00

BIOTOPE ピオトープ



田中優大(1992年生まれ、茨城県出身)と田中杏奈(1991年生まれ、神奈川県出身)によるユニット。プレイフルな世界観を軸に、アートディレクション、グラフィックデザイン、ファッションデザインの分野で活動する。ITS Artwork Award powered by Swatch Art Peace Hotel(アートワーク部門グランプリ)受賞。


循環する社会へ

綿花を育てて人と繋がる。綿花のある風景を想像する。播州織産地の畑で綿花を育てる活動を10年間続ける北原一輝さんと、有機栽培で13種類のコットンを仲間と育てるテキスタイルデザイナーの河野詩織さんとともに綿花を浦安で育てることについて考えます。衣服をつくる人、売る人、着る人の循環。そして綿が、糸に、生地、服になる循環。生きることの多くの場面に装いにまつわる循環があります。「綿花」を通して生活の中から拡張していくファッションを考えます。

レクチャー 2024年 12月1日(日) 14:00~16:00 (13:45 受付開始)


会場 | 市民プラザ Wave101 1小ホール | 定員 | 70名 (要事前申込)

北原 一輝 きたはら かずき



2016年より国内のブランドをメインに取引扱うセレクトショップ「fitocci」を大阪にてオープン。また、2014年より兵庫県西脇市にてコットン栽培プロジェクトの運営にも携わる。風の販売のみならず、風の周縁に触れることのできる店舗の運営を目指す。近年ではアートプロジェクトにおける商品企画などにも携わり活動の幅を広げる。

河野 詩織 こうのしおり



兵庫県西脇市にあるテキスタイルメーカー・東洋染工でオリジナルテキスタイルのデザインを担当。シェアハウスの先妻ファミリーがコットンを育てる活動をしていくことをきっかけに一緒に取り組み始めて4年目。2024年、有機栽培で13種類のコットンを仲間と育てる。テキスタイルを通して感じた自然や生き物と繋がる喜びを伝えたい。

浦安ずるシルバーカー

シルバーカーが日々を彩るアイテムに。超高齢社会を象徴するファッションアイテム「シルバーカー」を装飾し、外出が楽しくなる装置に変換するワークショップです。ファッションをリードする若手のクリエイターがファシリテーターを担います。参加者によって装飾されたシルバーカーは、「パブロープ in 浦安」で貸し出され、商業施設内や浦安の土地を散策することができます。


2日間のワークショップ 2024年 12月7日(土) 12月21日(土) 13:00~16:00 13:00~17:00

会場 | 市民プラザ Wave101 ギャラリー | 定員 | 20名ほど (要事前申込) | 受付開始 | 12:45~ | ※本ワークショップは、両日参加可能な方のみ対象になります。

展示 2025年 1月18日(土) — 26日(日)


会場 | アトレ新浦安 ガーデンテラス | 観覧時間 | 10:00~21:00

Shota Mitsuoka ショウタ ミツオカ



1993年兵庫県生まれ。神戸市在住。大学卒業後、株式会社ギークビクチュアズでプロダクションマネージャーを経験後、ファッションスクール Cocoonagacco に通い職作りを始める。2022年より渡独、フリーランスデザイナー、VMDとして活動。2024年10月に日本に帰国。

haru. ハル



学生時代にインディペンデント雑誌HIGH(er) magazineを編集長として創刊。2019年に株式会社HUGを立ち上げ、クリエイティブディレクションやコンテンツプロデュースの事業を展開。2024年4月にクリエイティブディレクターとしてインナーウェアブランド「HEAP」をローンチ。


パブロープ in 浦安

誰もが利用できる公共のワードローブが浦安のまちのなかに「パブリックなワードローブ」を意味するパブロープは、市民から集めた服で「服の図書館」を作る西尾美也のプロジェクト。今回は駅ビルとして賑わうアトレ新浦安にパブロープを出現させます。「浦安するシルバーカー」で装飾されたシルバーカーも貸し出します。

展示 2025年 1月18日(土) — 26日(日)

会場 | アトレ新浦安 ガーデンテラス | 公開準備 | 1月17日(金) | 観覧時間 | 10:00~21:00

L.PACK. エルパック



小田桐慶と中嶋悠矢によるユニット。アート、デザイン、建築、民藝などの思考や技術を横断しながら、最小限の道具と現地の素材を積極応用に組み合わせたプロジェクトを行う。2007年より活動スタート。




Value of Waste

浦安市の環境や構造物、人々の行動などを解体・分析することで、地図情報だけでは得られない情報を見出す新たな視点を探っていきます。眼で見て、手肌で感じた場所や空間を記述するリサーチでは、観察と制作を繰り返し、場所との対話を試みることで、課題そのものをほぐしていきます。それは結果だけではなく過程を市民と共有して、まちを眺める方法といえるかもしれません。そのような特徴を活かし、昨年度は「ミチニワと観測所」と題して〈防災〉と〈水害〉、今年度は「Value of Waste」と題して〈ゴミの減量化〉と〈第一埋立護岸の利活用〉の課題を内包したプログラムに取り組みます。

今年度のふたつの課題への取り組み

ゴミの減量化



浦安市内のごみに着目したリサーチやワークショップを通じて、一般的な視点ではごみ溜まりとして見られていた場所を「誰かがまちの中に見つけ出した切実な拠り所」の跡として捉えることで、街に点在する人々の居場所を考えます。

行政的な視点では分野が違って見えるこれらの課題も、「都市の中の”Waste”(無駄)」という共通のキーワードで捉えることで、これまでにない繋がりや新たな視点が見えてきます。建築の視点を活かしたワークショップや展示では、それぞれの人が課題について考え、共有する場を作っていきます。

Value of Waste

一見無駄と思える物や現象に価値を見出す視点で、まちを描き出します。

展示 2024年 11月26日(火) — 12月1日(日)

会場 | 市民プラザ Wave101 ギャラリー | 観覧時間 | 10:00~17:00




<p>ディレクター 櫻村 美実 かしのら みみ</p>  <p>建築家、東京藝術大学建築科准教授</p>	<p>アシスタントディレクター 運彦 芳仁 はすなによしひと</p>  <p>建築家</p>	<p>櫻村研究室修士一年 秋谷 匠太郎 あきやしょうたろう</p>  <p>石井 開 いしいひろき 石川 咲良 いしかわさくら</p>
--	--	---

日本とワグングでの活動により、土地の個性を活かす建築を目指す建築家・櫻村美実がディレクションする当プログラムは、建築家・運彦芳仁と東京藝術大学建築科・櫻村研究室がチームとなって取り組んでいます。

今年度のプロジェクトへの取り組み 

昨年度のプロジェクトへの取り組み 

第一期埋立護岸の利活用



埋立事業当時の役目を終えた第一期埋立護岸に、長期的な都市計画的な改変ではなく、短期で小規模だからこその、場所に対する応答の方法を市民とともに探ることで、第一期埋立護岸の今後について考えます。

Value of "GOGAN"

旧護岸横の緑地で、気になる場所に布を張って、護岸に散歩道をつくります。

ワークショップ 2024年 12月8日(日) 14:00~16:00

場所 | 第一期埋立護岸 入船側、今川側 | 定員 | 20名 (小学生以下は保護者同伴)

旧海岸線散歩道

旧護岸周辺に場所の魅力をあぶり出す空間装置を設置することで、期間限定の散歩道をつくります。

展示 2025年 1月18日(土) — 26日(日)

会場 | 第一期埋立護岸横の緑地 | 観覧時間 | 10:00~17:00

旧護岸散歩道内覧会

展示作品「旧海岸線散歩道」を散策して描き出すことで、見えなかった旧護岸周りの魅力を明らかにしていきます。

ワークショップ 2025年 1月26日(日) 15:00~17:00

場所 | 第一期埋立護岸横の緑地 | 定員 | 30名 (小学生以下は保護者同伴) | ※12月中旬から募集開始

浦安のすきまを見つける。

浦安市出身のアーティスト2人と記録ライターによって実施される浦安のまちに密着したアートプロジェクト。「浦安のすきまを見つける。」は、浦安の土地の歴史を物語る第一期埋立護岸をテーマにした「護岸アーカイブプロジェクト-埋立地の記憶を保存する-」とアーティスト本人が浦安で過ごした時間をともに立ち上げられた「イス to ベンチプロジェクト」の2つのプログラムからなります。リサーチとワークショップを重ね続けた軌跡が公開される展示をぜひご覧ください！

護岸アーカイブプロジェクト

「護岸アーカイブプロジェクト」は、埋立地の記憶を保存する(Seawall Archive Project)です。浦安の土地の歴史を物語る「第一期埋立護岸」の型取りを3回にわたるワークショップでおこなってきました。そうして参加者とともにモノ、記憶、五感、対話などによって成された護岸のアーカイブを護岸型の小屋で展示します。

展示 2024年 11月23日(祝・土) — 12月1日(日)

会場 | 浦安公園、郷土博物館 | 観覧時間 | 10:00~17:00 | 施工 | 福島周平、柏木崇吾

VR体験 2024年 11月27日(水)

会場 | 郷土博物館 | 観覧時間 | 10:00~17:00 | ※詳細はホームページにてご確認ください。 協力: 大日本印刷株式会社

これまでのワークショップ

二度にわたる埋め立てによって現在のかたちとなった浦安市。第一期埋立護岸は海岸の保全を役割としていましたが、第二期埋立事業により陸地が広がりがその役割を終えました。東日本大震災の際に護岸がダメージを受けたこともあり、あり方が検討されています。「護岸アーカイブプロジェクト-埋立地の記憶を保存する-(Seawall Archive Project)」では護岸のある浦安の風景に縁のあるアーティストによってアートによる護岸のアーカイブを模索し、参加者とともに護岸の型取りとその経験を通じた対話を重ねてきました。



<p>アーティスト 横山 藩 よこやまなるき</p>  <p>1997年千葉県浦安市出身。写真を主なメディアとして表現活動を行っている。埋立地での少子から絵を描くことと何かをするのが好きで、その延長で美術をやっている。現在は自身の身体を使い、パフォーマンスを行っている。</p>	<p>アーティスト 佐藤 桃子 さとうももこ</p>  <p>千葉県浦安市出身。東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻修士課程を2024年に修了。幼少時から絵を描くことと何かをすることが好きで、その延長で美術をやっている。現在は自身の身体を使い、パフォーマンスを行っている。</p>	<p>ライター 屋宜 初音 やすひつね</p>  <p>沖縄県出身。東京藝術大学国際芸術創造研究科修了後、フリーランスで活動中。文化芸術とまちづくり、2つの分野に片足ずつ突っ込みながら、暮らしと芸術の関係を観察している。</p>
---	---	--

取り組む課題 **第一期埋立護岸の利活用** **社会的孤立の防止**

イス to ベンチ プロジェクト

「イス to ベンチプロジェクト」では、それぞれが自分の現在地を知るためにイスをつくり居心地の良い場所へ置いてみるワークショップを重ねています。また、個々のイスは繋げるとベンチになるように設計されています。アーティスト自身の経験から「孤独とは、自分も他者も、どこに居るかわからなくなってしまった状態である」と考え、あのいまだうしているかな、何を感じているのだろうか、というような、自分の点から他者の点へ向かう線をつないでみます。今年度つくれたイスは市内各所に展示され、ワークショップ参加者それぞれの点が浦安市内に広がります。

展示 2025年 1月18日(土) — 26日(日)

会場 | 市内各所の公民館や図書館など (詳細は浦安藝大ホームページに掲載されます) | 観覧時間 | 各施設の開館時間による



ワークショップ 2024年 12月13日(金) — 15日(日)

会場 | 高洲公民館 エントランス、工芸工作室 | 「イス to ベンチプロジェクト」の考える「現在地」と「つながり」をテーマに、訪れる人々とイスをつくりながら対話し楽しむ3日間の実験場。ぜひあそびに来てください！ ※詳細はホームページやSNSで追って発表します。 ※制作されたイスは1月18日(土)~26日(日)で開催される「浦安藝大プロジェクト展 vol.2」にて浦安市各所に展示され、展示後に希望者にはイスの返却をおこないます。

ワークショップ 2024年 12月21日(土) 第一部 10:00~12:00 (9:45 受付開始) 第二部 13:00~15:00 (12:45 受付開始)

場所 | 浦安市文化会館 大会議室 | 木材と簡単な道具をつかってイスをつくり、浦安公園へ出て自分の居心地の良い場所にイスを置いてみます。イスを自分の現在地に立立ててみると、みんなの置いたイスから「わたし」と「誰か」の存在が見えてくるかもしれません。 ※制作されたイスは1月18日(土)~26日(日)で開催される「浦安藝大プロジェクト展 vol.2」にて浦安市各所に展示され、展示後に希望者にはイスの返却をおこないます。